公開講演会とその実施経緯

北九州市立大学を会場とする北九州小倉・糠床糠炊き研究会主催の公開講演会は、その分野の専門家を講師とし、2014年の第1回目以来、毎年一回、通算5回実施した。糠床の価値、およびその伝統食文化を広く北九州市民にお伝えし、再認識頂くのが目的であった(会長)。

平成22年、会長(小倉生まれ、小倉育ち)の母の他界から2年 後、彼は一人暮らしに何か欠けている物を感じた。「糠炊き」 だった。60数年前の幼少の頃から、花王退職後まで食べ続けた祖 母と母の糠炊きだった。いてもたっても溜まらず、スーパーに駆 け込んで糠床を買い、我流で適当に糠炊きを作った。塩辛かった が糠炊きの香味があった。数回作り、「この香味は一体、如何な る化学成分に寄るのか?」、時間がたっぷりあり普段は考えない ことを思いついた。「糠床」をネット検索した結果、今井正武先 生のあの論文に遭遇し、一読して感動した。自分一人で満足して いては駄目だ。市民の皆さんにもお伝えしなくては、と考えた。



糠炊きがなくなる と、私は煮詰まな た糠味噌をご飯に 付けた食べた。絶 るの味噌がまだ

私の味覚が未だ 覚えている香味。

1968年



祖母と母

再現したい何としてでもあの糠炊きを

平成24~25年 糠炊き修行



ネットで見つけた 今井正武先生の総説

(2013年暮れから2か月間、先生を探し続け やっと交流に成功した)

"糠みそ床の香気成分の生成に関する微生物と温度の影響"、今井正武、日本食品低温保蔵学会誌、21(3),161-178(1995).

Influence of Microbe and Temperature on Producing of Flavor Components of "Nukamiso Doko*" (*Rice Bran Paste for Pickling), IMAI Masatake* Research Institute of Morinaga & Co., 2-1-1 Shimosueyoshi, Tsurumi-ku, Yokohama, 230,

北九州小倉・糠床糠炊き研究会主催の公開講演会一覧

回数	実施日	演題	講師
第1回	2014.9.12	発酵もたらす美味しさと香り	今井正武
	2014.9.13	微生物のもたらす美味しさと健康	今井正武
第 2 回	2015.8.23	糠床の面白さと糠炊きの栄養価	今井正武
第 3 回	2016.8.7	糠床の魅力	波多野淳子
		糠床って、むずかしいの?	矢野寿美子
第4回	2017.10.1	ぬかとぬか炊きの栄養・効能	近江雅代
		発酵よもやま話	古田吉史
第 5 回	2018.6.17	滅多に聞けない糠床発酵の凄いお話し	小野浩
		(私の糠床研究のお話し)	

講演の概要、講師の所属、講演会の様子(写真等)は、ホームページの講演会のポスターをクリックすると拡大表示されます。

第5回講演会参加者へのアンケート調査結果(70名中43名回答)

		第	5	回	講	寅金	会参	加利	一番	の)
							6-443385/6W			
	-		集合学院		M (1)	5	機狀會	機嫌け		の機構
	3 W 10	中ン機		OB	*	-	数据控制		(株)	BLC form
-				1	•			4	- 1	
=				1				*	N. H. W.	
=			_	1		- 1	2		- 2	
*	- 1		- 1	_	_	1.	14	2		
3			-		- 4			2	- 1	
			-		- 1		2	ä	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	
			-	-	-	_	-1-	7	- 1	
- 3			-			- 1	:	3	j	
	1			_	- 1			1		
30			ļ	- 1	-	- :			- 1	-
	-				5	•			2	
22		,	-		- 3		2	1]	
26					- 1			1	- 1	
23								1		
30										
						- 1		-		
								į.		
									3	
=					- 4		ı.i	4	1	
=					- 3			-	Į.	
					-			3	:	
==				2				-		
24				- 1			a l	2	1	
22				1			2	1	2	
20	2						3	•	2	
==				1			-	2	2	
22	1								2	
==	1						:	=	2	
22	1						1	2	•	
21	1						- 1	3		
==							3	=	=	
=				1			1	=	2	
26		-					3	2	2	
22				1		1	2	=	3	
30				3.	:		3		2	
27				1			2	*	2	
==				L	5		:	=	2	
28							- 1	-	3	
40				L			2	W. M.		29.65
42								-1		
•	1						:		- 1	
42				1						
			- 6	- 21	27	12	201 1	325 B	340	

	悪薬金の番目	次回発揮する無調の事件
1 100	nの経過塩砂能とpppがおかり直かった。 出力消滅疾患可能もおかった	発表されぬりま、音気易は甘い
= 30 0	自由職くだけは歌音、幾つ前部見ながら歌えて致しい	小野先生の出か嵌をぐりたい
3		
4 🛊 6	身が無りたいことが良く合かった	
2 #2	製造かった	
-		
-		
a 16, 5	b+t	
1 /104	動像な、質問ローナーが物品りない、血管に質問しない人が思典なかった	
20 AS	8ル財政であんな産生の等を関け来かった	
**		
12 e43	8.心臓験が楽しかった。日本の喧嘩が軽楽した	
	自わ命からないまましてた海南を運輸付けてくれた	
	の長衛を施が悪く機能できた	●吹きのシシを
+1	取のこる毎が競技を指ってた	
- 4.0	後郷(御巻)は塩み湯塩、塩質により煮をすることが輝った	
	あづけるれた解集であり、自会の仮と自康が確立した	
	pの意識が参考となりました	
23		
24		
22		
	前が入職を一等(塩産養物)をいる質に前義	STAT. PRATERRAL
	1時、複合機能の繋が出かった	
	8は毎寒高味してたが、金田の藤雀を育り高徳樹したい	
	自由学が全て参考になった	
	あが高く会かった	非実けのな~の物的
31		
_	前は重要がさるだが一番をいるのこと	
	日通復を数値で見れたこと、多くの方の搭載とお解しが色かった	
	動物な肉質を開けた	
	pで連分でななくひゃた	
30	מודים על המודי בי בי במודי בי	
_	製力機を使りこと、理会は私くないが高いと	
_	8人の管理が大量機能となった	
	新仕事回転だけと仕載き、最高の遺産管理が開発。 裏座の影響器 + た	
	をは毎年日にからに乗る。 産業の産生を担か得清、産業の影響等をた 等っている数の発酵のことが耐け扱かった	
_	マママいらのの記憶のことが関け出かるた 我に動機があるのは良いことを理解概念を課。無論け楽しもり	
	(金融になり、参考に全なて組まます。	
	8注書くないよりに作成(※:泰幸將遷到集放を踏える)	

第5回講演会では小野先生の講演終了後、講師陣6名 (小野先生、近江先生、古田先生、波多野顧問、矢野顧問、木村会長)をステージのテーブルに、講演会参加者 との対面直接問答を実施した。このパネルディスカッ ション方式は聴衆と講師陣との直接問答で内容が充実し 非常に盛況であった。アンケート回答率は61%であった。

